

【プレスリリース】(2024.8.21)

学校法人東筑紫学園 九州栄養福祉大学、27の企業・団体との包括連携協定を締結

2024年8月21日、学校法人東筑紫学園 九州栄養福祉大学（北九州市小倉北区 理事長兼学長 室井廣一 以下、本学）は、小倉北区キャンパスにて、27の企業・団体（詳細は下記参照）と包括連携協定を締結しました。

本学では、食物栄養学部におきまして令和7年4月に「食環境データサイエンス学科」の開設を予定しております（設置認可申請中）。本学科では、AI・データサイエンスの深い専門知識と技術を食環境・健康分野に応用することで、子供から高齢者までの「豊かな食生活と健康」を支える持続可能な社会に貢献するグローバル人材を育成することを教育上の目的としています。また、本学の食環境・健康分野の教育・研究実績を背景に、地元の企業・団体や日本を代表するAI活用企業との産学連携を含むAI・データサイエンスの基礎から実社会での応用までを修得できる体系的な教育プログラムにより、卒業後、社会で即活躍できる人材の育成を目指します。さらには、関係企業・団体へのインターンシップやフィールドワーク及び同企業・団体との共同研究、人材交流などを通じて実践的な学びを提供します。

このようなことから、本学と関係企業・団体との間で「包括連携協定」を結び、相互の知識と資源を活用しながら、技術革新及び地域産業の振興に貢献していきたいと考えております。本連携は、教育・研究の質の向上に加え、地域社会の持続可能な発展に寄与するものと確信しております。

※ 設置される学科等の名称・内容などは予定につき、変更される場合があります。

【包括連携の目的】

本協定は、本学及び関係企業・団体が互恵の精神に基づき、多様な分野での連携を持続的・効果的に推進することにより、北九州地区における学術研究の発展、地域産業の振興、教育・人材育成に寄与することを目的とする。

【包括連携事項】※ 本内容は関係企業・団体によって、多少異なります。

次の事項について連携し協力する。

- (1) 教育・人材育成に関する事項
- (2) インターンシップに関する事項
- (3) 学術研究に関する事項
- (4) 地域産業の振興に関する事項
- (5) 地域社会の活性化に関する事項
- (6) その他本協定の目的を達成するために本学及び関係企業・団体が必要と認める事項

【包括連携のテーマ及び実施内容】

包括連携の具体的なテーマ及び実施内容については、本学及び関係企業・団体がその都度協議し、別途契約等で定めるものとする。

【包括連携協定企業及び団体】

アイコムソフト(株)、(株)アフレル、(株)井筒屋、AI CROSS(株)、オーエーセンター(株)、(株)オプティム、おりおスポーツ接骨院、極東ファディ(株)、(株)サンキュードラッグ、(株)サンリブ、(株)しゅんさいくらぶ、(株)スターフライヤー、(株)セキュアサイクル、(株)東筑軒、TOTO(株)、(株)ドーワテクノス、(株)ハピクロ、(同) B & W、響灘菜園(株)、(一社) 福津いいざい、寶結(株)、(株)丸ふじ、(株)もち吉、(株)ゆめマート北九州、(株)ONE

また、包括連携締結式には、本学が社会福祉の観点から連携を図る「子ども食堂ネットワーク北九州」ならびに「社会福祉法人聖導会 川崎学舎」にも出席を賜り、同団体・法人とも協定を締結しました。

※以上、27 の企業及び団体（敬称略、50 音順）

